

# 第4期

# 多治見市地域福祉活動計画

(2019年4月～2024年3月)



社会福祉法人  
多治見市社会福祉協議会



社会福祉法人  
多治見市社会福祉協議会  
会長 今枝寛彦

近年、少子高齢化の急速な進行や地域のつながりの希薄化、多発する災害への備えなど、地域の福祉課題は、複雑かつ深刻化しています。

このような中、一つ一つの課題に向き合い、地域と一体になった取り組みを進める指針として、「第4期多治見市地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画は、「ささえあい みんなで育てる この地域」を基本理念とし、これから私たちが取り組んでいく方針を示しています。今後の計画実現に向け、市民の皆様をはじめ、地域福祉に関わるあらゆる団体と連携を取りながら進めてまいりたいと考えておりますので、さらなるご協力とご参加をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見と多大なご協力を賜りました策定委員の皆様をはじめ、住民アンケートなどを通じて貴重なご意見をいただきました市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

## 目 次

第1章 計画の策定にあたって……………	1
第2章 地域福祉の現状と課題（計画策定の背景）……………	3
第3章 計画の体系……………	9
目標1……………	11
目標2……………	13
目標3……………	17
計画の推進と評価……………	19
資料編……………	20

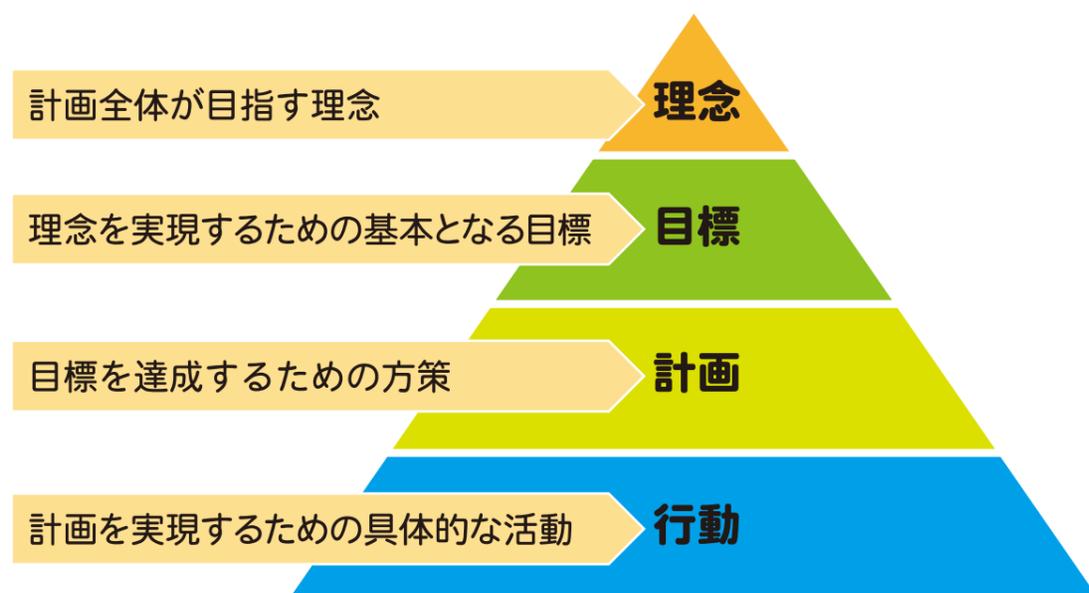
# 《第1章》 計画の策定にあたって

## 《策定の目的》

多治見市に暮らす人たち一人ひとりが、地域社会を担う一員として、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け、各種関係団体等とともに活動を展開していくための行動計画として策定します。

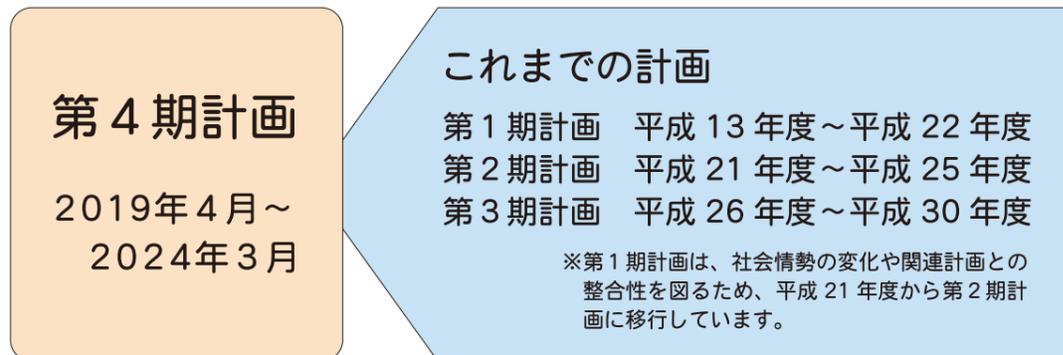
## 《計画の構成》

地域における福祉を推進するための理念や目標などを示し、住民や関係機関と連携・協力しながら推進します。



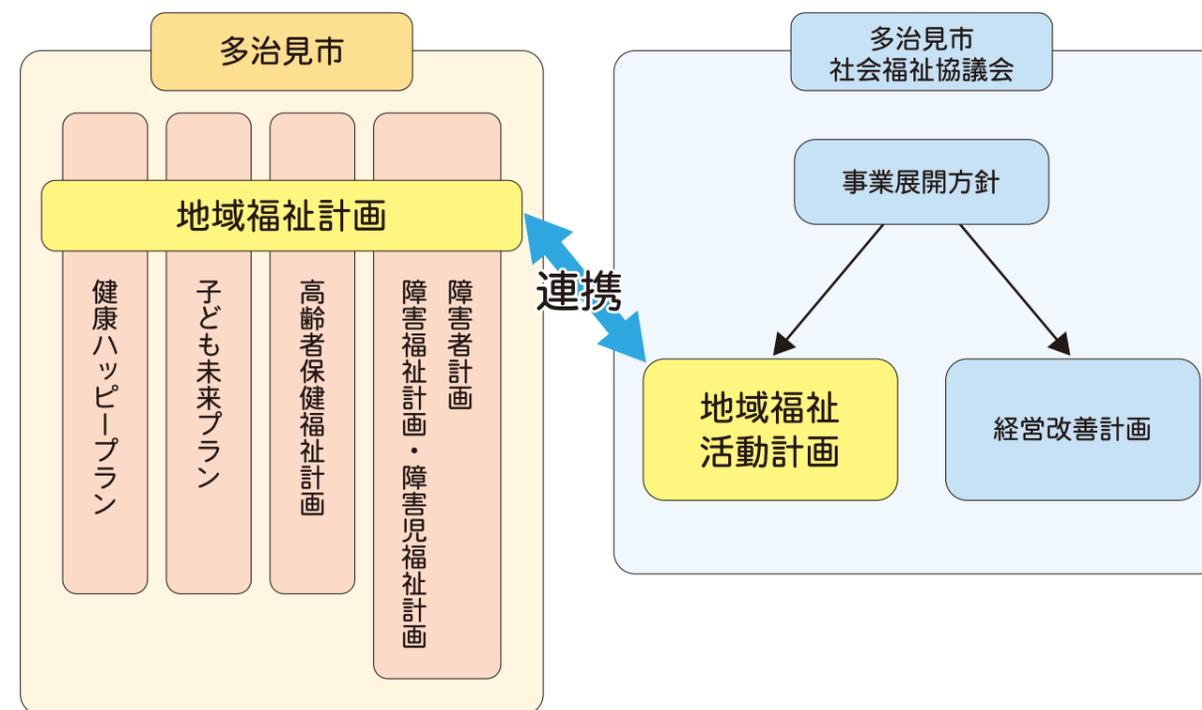
## 《計画の期間》

2019年4月から2024年3月までの5年間の計画です。



## 《計画の位置づけ》

本計画は、多治見市が策定している「第4期多治見市地域福祉計画」と相互に連携し、補完、補強しあいながら、地域福祉を進展します。



## 《計画の推進主体》

この計画は、多治見市社会福祉協議会が中心となって、地域住民の主体的な参加のもと、地域福祉に関係のある機関・団体とともに計画的に進めていきます。



第4期地域福祉活動計画策定委員会の様子

社会福祉協議会は、社会福祉法(第109条)の中で地域福祉を推進する団体として位置づけられています。

# 《第2章》 地域福祉の現状と課題

(計画策定の背景)

## → ボランティア活動・福祉教育

### 《現状》

多様なボランティア活動が展開されています。平成30年9月末現在、ボランティアセンターには、およそ116のボランティア団体の登録があり、幅広く活動をしています。福祉教育においては、学校と連携・協力し、体験学習等を行っています。また、災害発生後の復興支援を行うための災害救援ボランティアの充実にも取り組んでいます。

### 《課題》

- ボランティア団体等では、スタッフの高齢化や後継者不足に悩まされています。
- 市民意向調査では、ボランティア活動に関心がある割合が34.1%、関心がない割合が56%となっており、ボランティアへの関心が薄れています。
- 福祉教育は、学校だけでなく、家庭や地域における取り組みも重要視されています。

#### 【ボランティアの推移】

	27年度	28年度	29年度
登録ボランティア団体	103	113	112
登録ボランティア個人	79	80	62
(中高生)夏のボランティア体験参加者数	112	182	112

各年3月31日現在 資料元：多治見市社会福祉協議会事業報告書



福祉教育(ガイドヘルプ)の様子



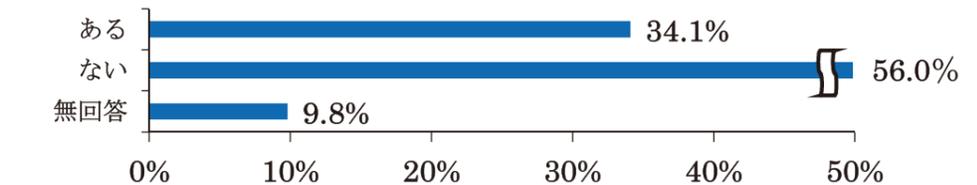
古切手などを仕分けするボランティアの様子



災害ボランティア(東日本大震災)の活動風景

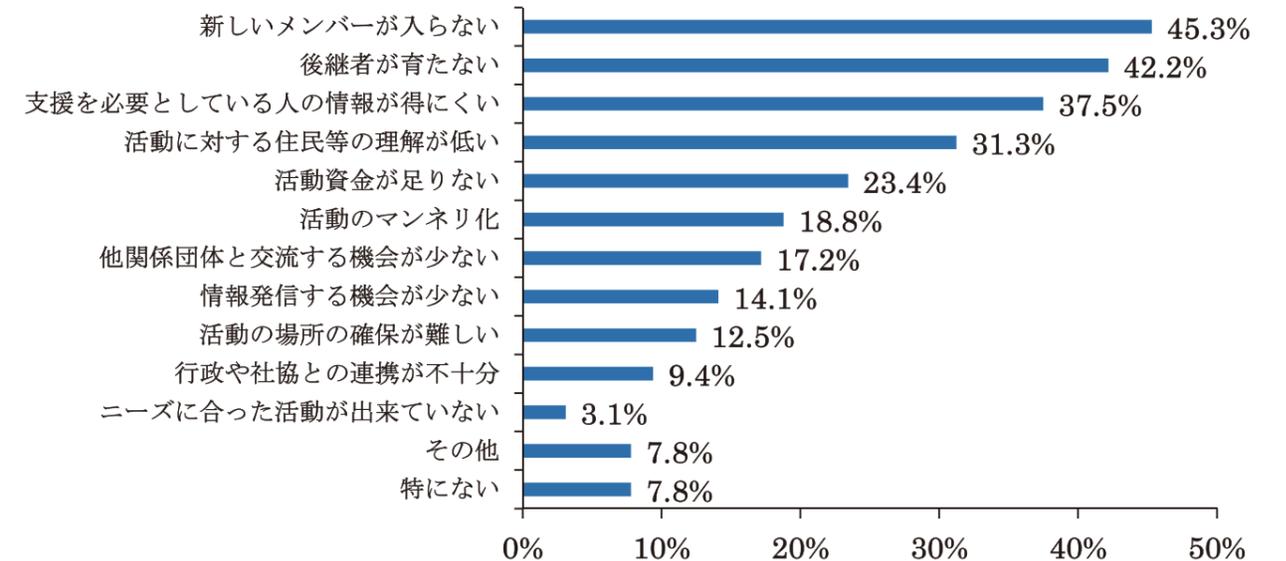
## 現状と課題 【アンケート結果(抜粋)】

### ●ボランティア活動に関心はありますか。



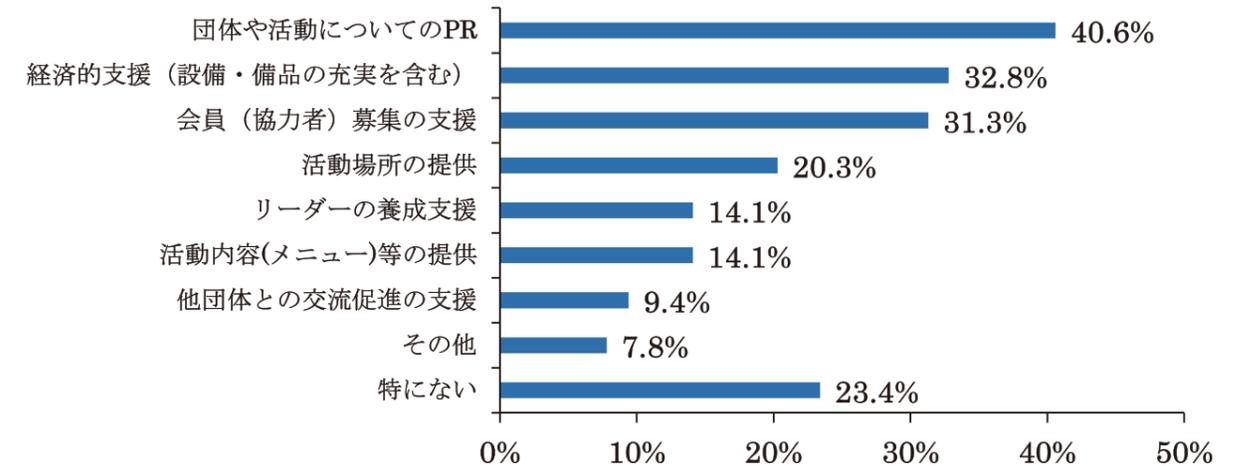
資料提供：平成29年度地域福祉計画見直しにかかる市民意向調査結果報告書(多治見市)

### ●ボランティアをする上で、困っていることはありますか。



資料提供：多治見市社会福祉協議会 関係団体アンケート調査結果報告書

### ●ボランティアをする上で行政や社協に望むことはありますか。



資料提供：多治見市社会福祉協議会 関係団体アンケート調査結果報告書

→ 地域づくり・助け合い活動

《現状》

地域住民の参加により、様々な助け合い活動が展開されています。小学校区単位で設立を進めている地域福祉協議会は、市内13校区中7校区で設立され、地域の実情に合った福祉活動が展開されています。

市内には、町内会単位で設置されているおよそ600人の福祉委員が地域の見守りや福祉行事の運営などを担っています。

また、住民の身近な交流の場として、およそ120のひまわりサロンが市内各地で開催されています。

《課題》

- 少子高齢化や近所づきあいの希薄化、自治会加入率の低下、個人情報の取り扱いなどの問題から、住民の孤立化が課題となっています。
- 地域により福祉委員への理解に格差があるため、活動が拡大・定着しつつある地域がある一方で、まだまだ理解が浸透していない地域もあります。
- 地域福祉協議会は全小学校区に設立することを目指していますが、6つの小学校区が未設立となっています。
- 災害時など困りごとが生じた際、地域での助け合いの重要性が指摘されていますが、その基盤となる日頃からの住民同士の関係づくりの機会や場が求められています。

【人口割合の推移】

	20年度	25年度	30年度
年少人口（0～14歳）割合	13.8%	12.9%	11.9%
老年人口（65歳以上）割合	20.1%	24.2%	29.2%

各年4月1日現在 資料提供：多治見市統計

【自治会加入率の推移】

	28年度	29年度	30年度
自治会加入率	72.0%	71.2%	71.9%

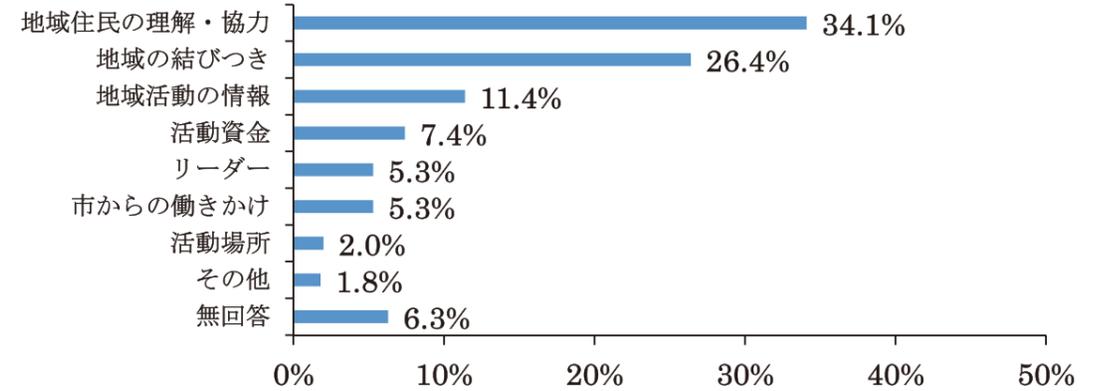
各年4月1日現在 資料提供：多治見市統計

【福祉委員・サロン数の推移】

	27年度	28年度	29年度
福祉委員数	587人	630人	622人
自治会数	48区455町内会	50区457町内会	50区458町内会
高齢者サロン数	76	81	90
障がい児者サロン数	8	8	8
子育てサロン数	8	8	8

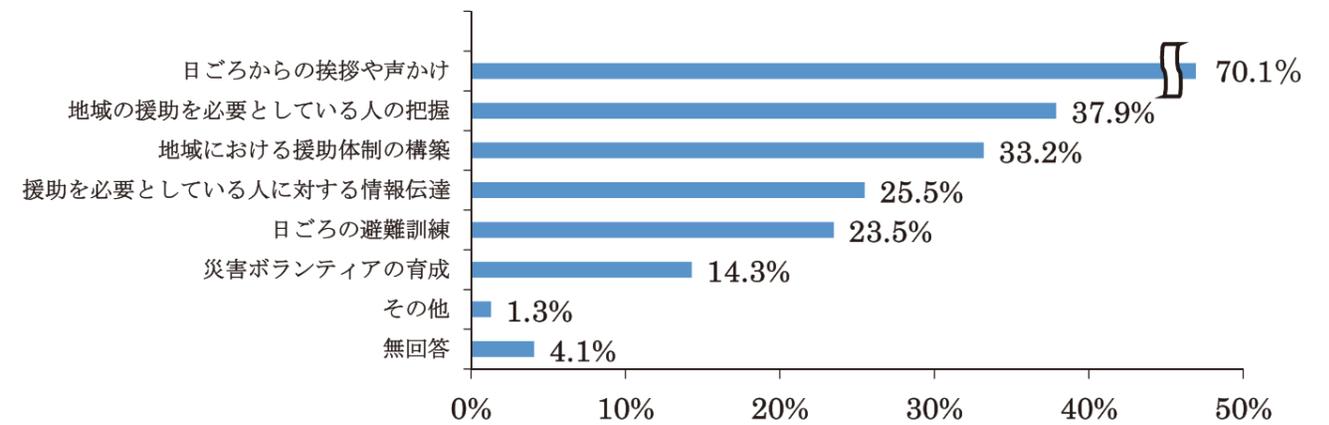
各年3月31日現在 資料元：多治見市社会福祉協議会事業報告書

●地域活動が活発になるために一番大切だと思うものは何か。



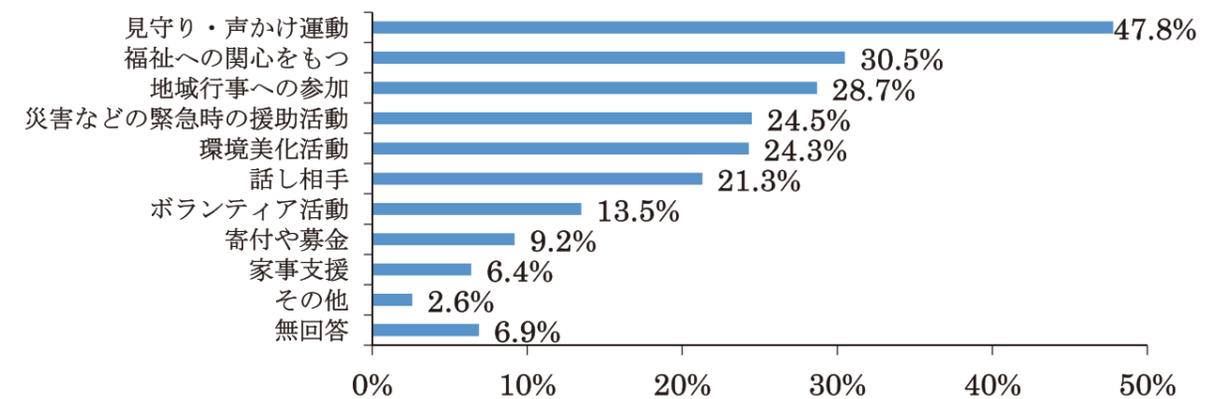
資料提供：平成29年度地域福祉計画見直しにかかる市民意向調査結果報告書（多治見市）

●災害時における助け合いを行う上でどんなことが必要か。



資料提供：平成29年度地域福祉計画見直しにかかる市民意向調査結果報告書（多治見市）

●地域住民が安心して暮らせるようにあなた自身ができることは何か。



資料提供：平成29年度地域福祉計画見直しにかかる市民意向調査結果報告書（多治見市）

→ **情報発信・福祉サービス**

《現状》

ホームページやメールマガジンの開設、毎月の広報全戸配布などにより、情報の適切な周知に努めています。

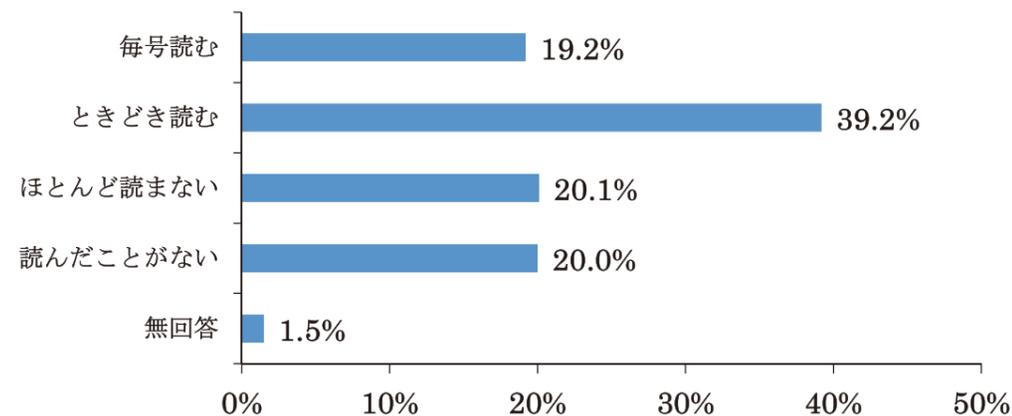
福祉サービスにおいては、多様化するニーズや社会情勢の変化などに合わせた福祉サービスが求められる中、質の高い適切なサービス提供に努めています。

《課題》

- 市民意向調査では、広報紙「ふれあい」をほとんど読まない割合が20.1%、読んでいない割合が20.0%となっています。広報紙の周知活動と併せて、多様な情報発信が求められています。
- 既存の支援や制度だけでは複雑・多様化する福祉ニーズに応えられないことが多くなっています。

**現状と課題 【アンケート結果（抜粋）】**

●多治見市社会福祉協議会が発行している広報紙「ふれあい」を読んでいるか。



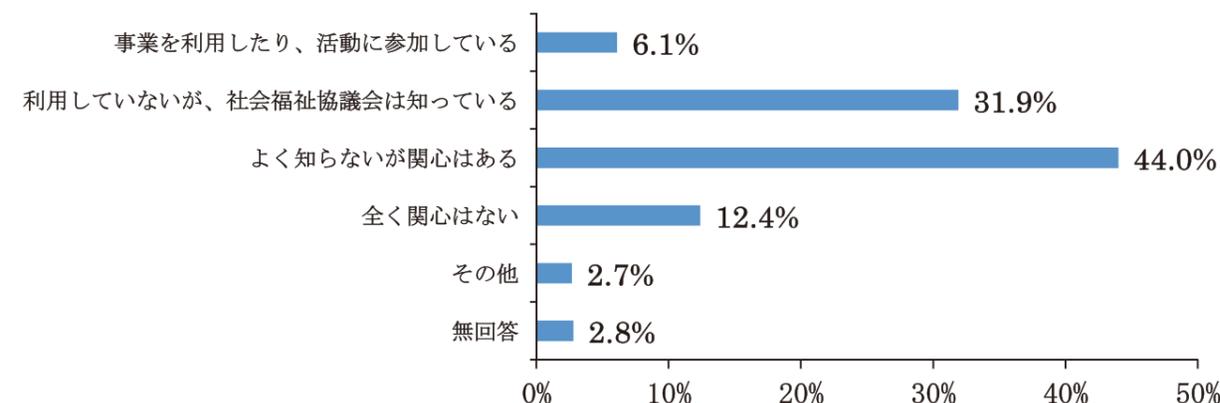
資料提供：平成29年度地域福祉計画見直しにかかる市民意向調査報告書（多治見市）



毎月1日発行の  
広報紙「ふれあい」

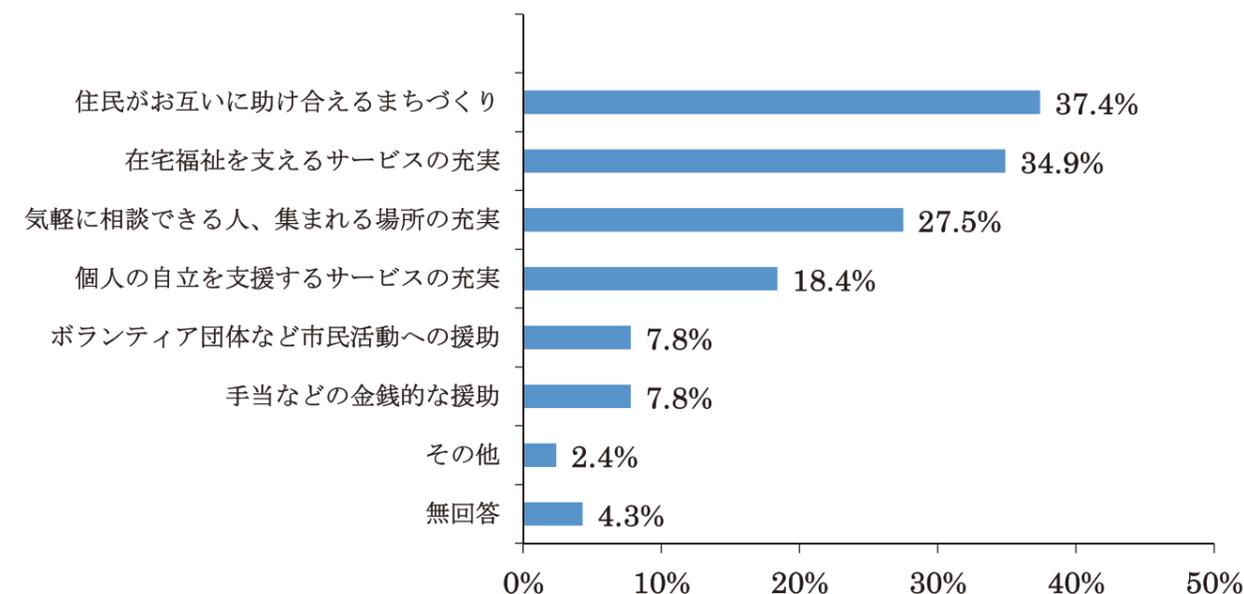
●多治見市社会福祉協議会が行っている事業や福祉サービスを知っていますか。

多治見市社会福祉協議会が行っている福祉サービスの認知度			
	19年度	24年度	29年度
事業を利用したり、活動に参加している	7.0%	6.2%	6.1%
利用したことはないが社会福祉協議会は知っている	36.6%	33.4%	31.9%
よく知らないが関心はある	43.8%	43.1%	44.0%
全く関心はない	8.8%	13.0%	12.4%



資料提供：平成29年度地域福祉計画見直しにかかる市民意向調査報告書（多治見市）

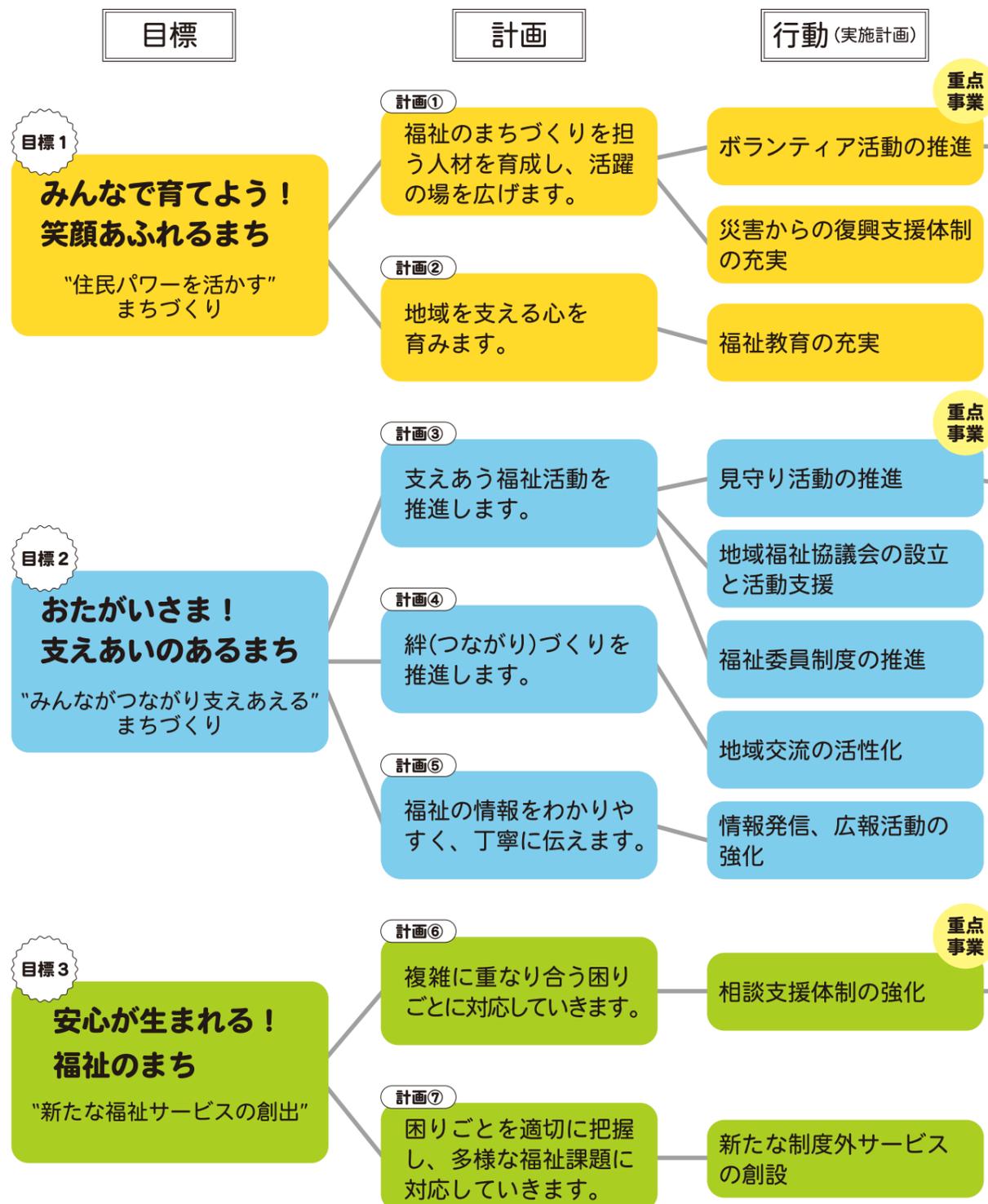
●これからの多治見市の福祉は何を重点にすべきか。



資料提供：平成29年度地域福祉計画見直しにかかる市民意向調査報告書（多治見市）

# 《第3章》 計画の体系

## 理念 「ささえあい みんなで育てる この地域」



## 重点事業

重点事業とは、行動（実施計画）の中でも、優先して取り組むべき事業として、下記の理由から掲げています。

### 重点事業① ボランティア活動の推進

ボランティアは、地域福祉活動を支える大切な担い手です。その担い手を育成することは、現在の地域福祉を支えるだけでなく、未来の地域福祉を支えることにつながります。

### 重点事業② 見守り活動の推進

見守り活動の推進は、地域の異変の早期発見、通報、相談につながります。また、日頃からの住民同士の見守りは地域のつながりを強くし、お互いの支え合いにつながります。

### 重点事業③ 相談支援体制の強化

困りごとの相談で適切な支援につながることは、相談者の安心につながります。複雑に重なり合う困りごとに対応し、関係機関とスムーズに連携できる相談機関は、地域の安心につながります。

目標1

# みんなで育てよう！笑顔あふれるまち ～住民パワーを活かすまちづくり～

計画①

## 福祉のまちづくりを担う人材を育成し、活躍の場を広げます。

地域には、多種多様な住民パワーが潜在しています。この貴重な住民パワーを活かす取組みを積極的にすすめていきます。

行動 (実施計画)	ねらい	取組内容	スケジュール				
			19	20	21	22	23
重点事業 ボランティア活動の推進	多様なボランティアを育成します。	新規の養成講座を年1講座ずつ実施。	2019年4月から実施				
	後継者不足解消を目的にボランティアリーダーの育成を進めます。	現リーダーを対象とした研修を年1回開催。	2019年4月から実施				
		リーダー養成を目的とした研修を年1回開催。	2019年4月から実施				
ボランティアの活躍の場を創出します。	アンケート調査等、ボランティアニーズを積極的に把握します。	2019年、2022年に実施	→			→	
		広報やメディア等を活用し、情報発信力を強化します。	2019年4月から実施				

行動 (実施計画)	ねらい	関連する事業 や活動	内容
災害からの復興 支援体制の充実	災害救援ボランティアセンターの立ち上げ訓練などを行い、災害時(水害、地震等)に備えます。	災害救援ボランティアセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時マニュアルを点検します。</li> <li>・定期的にセンターの設置運営訓練を実施します。</li> <li>・住民や関係機関等へ災害救援ボランティアセンターの周知を図ります。</li> </ul>

計画②

## 地域を支える心を育みます。

福祉の理解者を地域の中で少しずつ増やしていくことは、地域福祉の基盤を作る上でとても重要です。福祉の大切さや魅力を丁寧に伝えていきます。

行動 (実施計画)	ねらい	関連する事業 や活動	内容
福祉教育の充実	家庭・学校・地域における福祉教育を充実させ、子どもたちの福祉のこころを育てます。	福祉教育支援啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協出前講座を刷新し、福祉教育内容の充実を図ります。</li> <li>・学校と連携し、福祉教育の支援を進めます。</li> <li>・地域福祉協議会や関係機関と連携し、地域における福祉教育を進めます。</li> <li>・親子ボランティア体験などを企画し、家庭における福祉教育を進めます。</li> <li>・企業等へ働きかけ、職場における福祉教育を進めます。</li> </ul>
	講演・研修等を通し、幅広い世代へ福祉教育を進めます。		



多治見市総合防災訓練  
災害救援ボランティアセンター設置訓練の様子



小学校での車いす  
体験の様子



ボランティア  
連絡会の様子



目標2

# おたがいさま！ささえあいのあるまち ～みんながつながり助け合えるまちづくり～

計画③

## 支えあう福祉活動を推進します。

「おたがいさま」をキーワードに、住民同士が支えあい、助け合う活動を推進していきます。

行動 (実施計画)	ねらい	取組内容	スケジュール				
			19	20	21	22	23
重点事業 見守り活動の推進	住民同士が日常的に、見守り、支えあうことができる活動を推進します。	自治会や関係機関、地域住民向けに、見守り講座の開催、見守りチラシの配布を支援します。	2024年3月までに全ての区で見守り講座もしくは見守りチラシの配布を実施				
		ひまわりサロンを通じた見守り活動を推進します。また、新たにサロン参加者向けに「見守られ講座」を開催します。	2019年検討 2020年4月から実施				



福祉委員を対象にした見守り講座の様子



民生委員と福祉委員による見守りマップ作りの様子

行動 (実施計画)	ねらい	関連する事業 や活動	内容
活動支援 地域福祉協議会の設立と	住民主体の福祉活動を展開していくための拠点として、地域福祉協議会の設立を目指します。(設立状況は下記参照)	地域福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>未設立地域への啓発事業を毎年実施し、設立への機運を高めます。</li> <li>設立に向けた、設立準備委員会への支援を積極的に実施します。</li> <li>安定した運営ができるよう継続的な支援をしていくとともに、地域の特性に合った事業運営を支援します。</li> </ul>
	地域福祉協議会の活動の発展と継続を支援します。		

設立校区	未設立校区
脇之島 (平成16年設立)	池田 小泉 昭和 精華 滝呂 南姫
笠原 (平成18 // )	
根本 (平成18 // )	
市之倉 (平成18 // )	
北栄 (平成19 // )	
共栄 (平成28 // )	
養正 (平成28 // )	



朝市の様子



生活支援の様子

行動 (実施計画)	ねらい	関連する事業 や活動	内容
福祉委員制度の推進	研修や講演会などを通じ、福祉委員の意識の向上と活動の充実を推進します。	福祉委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りに関する講演会を開催し、意識の向上を図ります。</li> <li>各区福祉委員会へ活動の企画提案を行い、研修や講座の開催、福祉マップ作り等の支援をします。</li> <li>福祉委員制度に関する意識調査を実施し、評価します。</li> <li>地域の見守りネットワークが広がるよう支援します。</li> </ul>
	民生児童委員との連携を推進し、地域での見守りの充実を図ります。		

福祉委員数の推移		
27年度	28年度	29年度
587名	630名	622名

## 計画④ 絆(つながり)づくりを推進します。

日頃の見守りや災害時の助け合いの基盤となる「住民同士の顔のみえる関係」の構築を推進していきます。

行動(実施計画)	ねらい	関連する事業や活動	内容
地域交流の活性化	ひまわりサロンや子ども食堂などの活動支援、自治会活動の支援をし、地域で顔の見えるつながりづくりを推進します。	ひまわりサロン 福祉委員 地域福祉協議会 子ども食堂 貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を広く住民へ周知し、積極的に参加を呼び掛けます。</li> <li>地域ごとに情報交換できる場を設け、地域の実情に合わせた活動を支援するとともに地域のネットワークづくりを推進します。</li> <li>活動に関する保険加入を支援し、安心して活動ができる環境づくりを推進します。</li> </ul>

サロンの推移		
27年度	28年度	29年度
92カ所	97カ所	106カ所



ひまわりサロン活動の様子



ひまわりサロン代表者による校区別情報交換会の様子

## 計画⑤ 福祉の情報をわかりやすく、丁寧に伝えます。

福祉サービスに関することをはじめ、地域の福祉に関する情報を身近に感じてもらえるように、情報発信力を強化します。

行動(実施計画)	ねらい	関連する事業や活動	内容
情報発信、広報活動の強化	ボランティア情報や地域の福祉活動に関することなど「身近な福祉」を積極的に発信します。	すべての事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>より効果的な情報発信方法を検討・実施します。</li> <li>広報紙「ふれあい」を活用し、身近にある福祉を伝えていきます。</li> <li>メディア等を有効に活用し、スピード感のある情報発信に努めます。</li> </ul>
	福祉サービスの利用方法や内容などわかりやすく丁寧に伝えます。		



多治見市社会福祉協議会ホームページ



毎月1日発行の広報紙「ふれあい」

目標3

## 安心が生まれる！福祉のまち ～新たな福祉サービスの創出～

### 計画⑥ 複雑に重なり合う困りごとに対応していきます。

困りごとの早期発見・支援のため、相談支援体制を強化するとともに「身近な相談窓口」を目指します。

行動 (実施計画)	ねらい	取組内容	スケジュール				
			19	20	21	22	23
重点事業 相談支援体制の強化	複雑に重なり合う相談に対応できるよう、相談窓口を集約するとともに、専門機関等との連携を強化し、必要な支援につなげます。	気軽に相談事業、生活困窮者自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、小口資金貸付事業、日常生活自立支援事業を集約した新たなセンターを設立。	 2019年に設立。運用を開始する				
		地域の様々な機関と連携を図り、必要な支援につなげます。	 2019年4月から実施				



相談対応をしている様子



訪問支援をしている様子

### 計画⑦ 困りごとを適切に把握し、多様な福祉課題に対応していきます。

法律や制度では、即応できない福祉課題に応えるため、新たな制度外サービスを創出します。

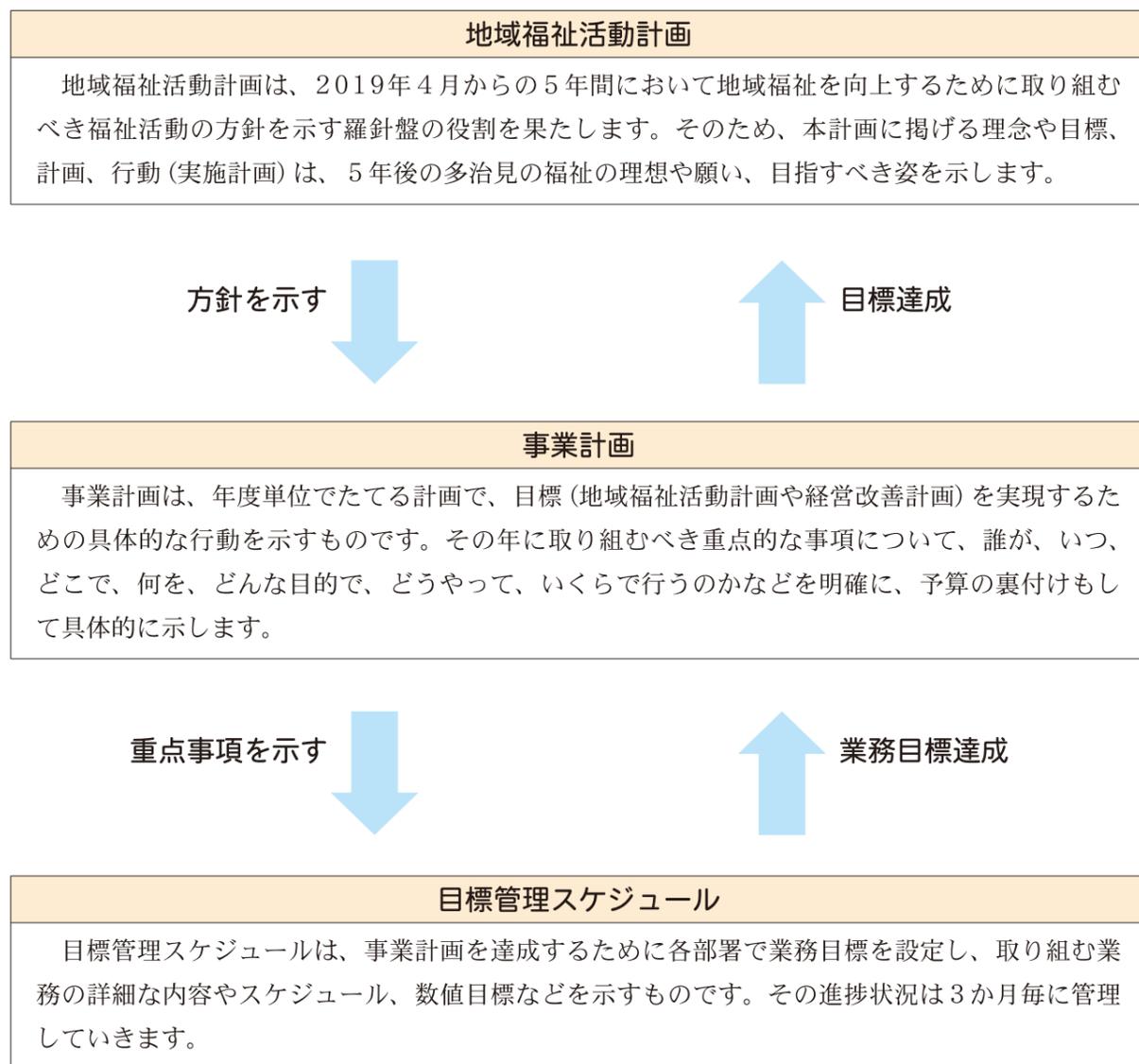
行動 (実施計画)	ねらい	関連する事業 や活動	内容
新たな制度外サービスの創出	生活上の困りごとを適切に把握し、それに対応する新たなサービスを開発していきます。	すべての事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民一人ひとりの声を丁寧に受けとめ、困りごとを把握します。</li> <li>・新たなサービスを企画検討し、実施に向け準備を進めます。</li> <li>・サービスを実施するとともに、見直しを重ね、改良していきます。</li> </ul>

# 計画の推進と評価

この計画で今後の地域福祉活動の目指す方向性をしっかりと示し、年度ごとの事業計画と目標管理の手法とが一体となって、具体的に事業活動を進めていくことになります。

また、計画の期間中は、年度ごとに計画推進委員会(※)で進捗状況を評価し、進行管理や見直しを行います。

(※)…地域福祉活動計画の進捗状況を検証・評価し、計画を効果的に進めるよう提言することを目的に設置する委員会。多治見市社会福祉協議会の理事・評議員・職員と地域福祉活動実践者で構成されている。



# 《資料編》 地域福祉活動計画策定委員名簿

## 【策定委員】

氏名	所属機関等	備考
花井 文治	日本福祉大学中央福祉専門学校	委員長
竹内 寛	脇之島地域福祉協議会	副委員長
吉井 よしみ	昭和地域民生児童委員協議会	
川本 紀男	多治見市悠光クラブ連合会	
安藤 秀章	多治見身体障害者福祉協会	
向井 一仁	多治見地区手をつなぐ親の会	
奥村 美紀	多治見市ファミリー・サポート・センター	
熊崎 健一	多治見市教育研究所	
古根 和代	手話サークル桔梗の会	
日下部 房子	根本第三ひまわりサロン	
田中 健	NPO 法人 東濃成年後見センター	
水野 貫二	笠原地域福祉協議会	
林 計男	北栄地域福祉協議会	
虎澤 智子	多治見市福祉課	
吉村 健一	多治見市社会福祉協議会	

(順不同・敬称略)

## 【職員委員】

氏名		備考
大川 真司	事務局次長	
澁谷 和臣	計画策定 担当課長	
水野 千鶴子	課長	
曾我 良樹	課長補佐	
古川 信子	総括主事	

## 【事務局】

氏名		備考
松井 太郎	計画策定 担当課長補佐	
藤井 裕士	計画策定 担当総括主事	

# 地域福祉活動計画策定委員会開催経過

回	開催年月日	議 題
第1回	平成29年10月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状交付、委員自己紹介、委員長互選</li> <li>・多治見市地域福祉活動計画の概要</li> <li>・第4期地域福祉活動計画策定日程について</li> <li>・第3期地域福祉活動計画の進捗状況について</li> </ul>
第2回	平成30年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意向調査の結果について</li> <li>・関係団体アンケート調査の結果について</li> <li>・多治見市の現状（各種データを確認）</li> <li>・課題の抽出と整理</li> </ul>
第3回	平成30年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の抽出と整理</li> </ul>
第4回	平成30年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の抽出と整理</li> <li>・課題別検討（グループに分かれて検討）</li> </ul>
第5回	平成30年6月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別検討結果報告</li> <li>・第4期地域福祉活動計画の体系（案）について</li> </ul>
第6回	平成30年8月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期地域福祉活動計画(案) について</li> <li>・計画の推進と評価について</li> </ul>
第7回	平成30年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期地域福祉活動計画(案)について</li> <li>・最終確認</li> </ul>

# 表紙の写真に協力していただいた皆さん

文 字	所属機関等	写 真
さ	がきんちょ（子育てサロン）	
さ	多治見市悠光クラブ連合会	
え	障害者福祉センターご利用者	
あ	地域福祉協議会	
い	たいようの会（障がい者サロン）	
み	絵本を楽しむ会（子育てサロン）	
ん	老人福祉センターご利用者	
な	太平児童センターご利用者	
で	障害者福祉センターご利用者	
育	多治見市マスコットキャラクター「うながっぱ」	
て	点訳友の会（ボランティア団体）	
る	ほのぼのサロン（高齢者サロン）	
こ	池田子育て支援センターご利用者	
の	母子父子寡婦福祉会	
地	多治見西高等学校インターアクト（ボランティアサークル）	
域	多治見市社会福祉協議会	

# 用語解説

## ボランティアセンター

ボランティアの相談、登録、ボランティア保険の加入など、さまざまなボランティアへの支援を実施しています。また、小中高校における福祉教育の支援等、地域のボランティア活動の拠点としての役割を果たしています。

## 災害救援ボランティアセンター

風水害や地震などの大規模災害が発生した際に、被災地の支援ニーズの把握・整理を行うとともに、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整やマッチング活動を行っています。

## 見守りチラシ

社会福祉協議会が作成し、主に各区の福祉委員会で地域に配付している見守りのチラシ。見守りのポイントや通報先が載っており、地域住民の見守り参加を促進します。

## 見守り講座

社会福祉協議会が実施する見守りのための講座。見守りのポイントや相談、連絡先について初めて見守り活動に参加する方にも分かりやすく解説します。

## 福祉教育

生活や学習の中で「福祉」を学ぶこと。児童が「みんなのしあわせ」を共に考え、「人が共に生きる」ことを学ぶ学習とも言えます。

## 社協出前講座

社会福祉協議会の職員が専門的な知識と経験を活かし、「福祉」についてお話させていただく講座です。みなさんの勉強会や会合へ訪問したり、施設見学を行います。

## 生活困窮者自立支援事業

生活の困りごと、特に就労や経済的に困窮している方を対象に相談や支援を実施します。また、多治見市では、収支のバランスが崩れている世帯への家計相談も実施し、生活の立て直しを支援します。

## 子ども食堂

子どもが1人でも安心して来られる無料または定額の食堂。困難を抱える家庭の子どもに限らず、地域の子ども同士、大人たちと触れ合うことができる交流の場です。

## 福祉マップ

地域の福祉に関する情報が分かるマップ。バリアフリーマップや見守りマップなど、目的別にさまざまなものがあります。

## 地域福祉協議会

住民が主体となって、その地域の福祉課題に対応した活動を展開するための組織。小学校区ごとに作られます。

## 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

## 小口資金貸付事業

緊急事態の際に小口の貸付を行うことにより、低所得者世帯の経済的自立と生活意欲の助長を図ることを目的とする市社協独自の貸付制度です。

## 福祉委員

住民同士の支え合いと安心して暮らせる地域づくりを推進するために町内会単位で選出していただき、多治見市社会福祉協議会会長が委嘱しています。地域の見守りや福祉行事の運営などを行っています。

## ひまわりサロン

地域の中で仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを目的に開催される集いの場です。多治見市では、主に「高齢者」「障がい児・者」「子育て」のサロンが開催され、地域住民が主体となって自主的に運営されています。

## 日常生活自立支援事業

日常の中で、自分で判断することが不安になってきた方を対象に、福祉サービス利用の相談支援、預金の払い戻しや預け入れの代行、通帳の預かりなどを行います。

## 民生児童委員

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々です。また、子どもの見守りをする「児童委員」を兼ねていることから「民生児童委員」と呼ばれます。



#### 第4期多治見市地域福祉活動計画

---

発行日	平成31年3月
発行	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
	〒507-0041
	岐阜県多治見市太平町2丁目39-1
電話	0572-25-1134
FAX	0572-25-1132